

未来創生学

地域フィールドワークが始まりました ～環の花、FUNNEL 編～

総合的な探究の時間として本年度から取り組んでいる「未来創生学」では、生徒一人一人が課題を設定するために、地域をフィールドとして学びを広げます。

今回は、フィールドワーク第一弾の様子です。

訪問先は、古家具・古道具をリニューアル販売している五位淵耕一さんが営む「FUNNEL」、平飼いのニワトリから採れた卵と卵を使った手作りプリンを販売している宮永憲治さんが営む「環の花」の二ヶ所です。生徒は、二つの班に分かれてお話を伺いに行きました。

「なぜこの地元でお店を営もうとしたのか?」「どうしてこの職業に決めたのか?」など、生徒の質問に丁寧に対応いただきました。お二人からは「できない理由を探すのではなく、どうやったら楽しくできるか考える。仕事も勉強も同じ」「何を仕事にするかよりも、自分がどんな気持ちでその仕事に取り組むか、全て自分次第」などの言葉をいただき、生徒自身のキャリア意識と探究意欲を高めることにつながる大変有意義な時間になりました。



生徒からは「自分の地元で、こんなに素敵な仕事をしている人がいることに驚いた」「好きなことを仕事にしている、すごいと思った」「私は、やりたいことがあっても、不安からあきらめてしまうことが多い、これからはあきらめずに挑戦したいと思った」「将来、仕事に楽しさを見つけられるように頑張りたい」などの意見が寄せられました。

地域でのフィールドワークを通して、起業し奮闘しておられる二人の姿に触れることで、地元の良さを見直すと同時に、将来の進路実現にも参考になる発見がたくさんありました。

協力してくださった五位淵さん宮永さん、ありがとうございました。

小瀬高 web ページも
ご覧ください。



「ない」からこそできる!

小瀬高 SPIRITS & PRIDE